

日刊 THE NIKKAN 工業 KOGYO SHIMBUN 新聞

7月17日 金曜日

2020年(令和2年)

マスク不足

新型コロナウイルス感染症の拡大で、最初に緊急事態宣言を出した北海道。営業先で聞いた声を拾い上げ、ビジネスに結び付けたのはトライ・ユー(札幌市東区)だ。元々は警備に必要なバリケードや車止めを開発・製造するが、上杉章社長は2月から「マスクが手に入らなくて」の声を耳にしていた。全国より1カ月近く先に感染者が出始めた北海道では、比較的早い時期から衛生用品の不足が目立っていた。

変革2020

「作ってみようか」。体温計測対応カメラの開発と同時に、軟質ゴム系素材で開発した折り畳み可能マスクを5月に市場投入。マ

⑥ 北海道・長野

第6部 ニューノーマルに挑む 中小企業編

顧客の声、素早く反応



マスク開発で蓄積したノウハウを生かし、ヘルメットをかぶっていて

も扱いやすい飛まつ防止フェースシールドも

開発。コロナ禍の中で従来の慣習にとらわれ

ず矢継ぎ早に商品を投入し、スピーディーな

対応でビジネスチャン

スをつかんだ。上杉社長は「私自身がやろう

換気ニーズ

「自社技術で密閉対策に貢献できないか」

野良須坂市)は新型コ

ロナの感染症対策で知

空間に合わせ機種を選

定すれば、30分程度で

手をかけるグループ。

軟質素材を使って新事業への進出を果たしたマスク(トライ・ユー)と決めればスタートできますから」とし、小所帯の企業の良さを生かした格好だ。

「自社技術で密閉対策に貢献できないか」野良須坂市)は新型コロナの感染症対策で知空間に合わせ機種を選定すれば、30分程度で手をかけるグループ。

「フレッシュエコキユーブAECシリーズ」は既存の空調機と併用するタイプ。対象は中小企業8社が協力し医療機器の開発受託を手がけるグループ。

「FESSA(セツ)」は中小企業医療機器開発ネットワーク」は中小企業8社が協力し医療機器の開発受託を手がけるグループ。

「FESSA(セツ)」は中小企業医療機器開発ネットワーク」は中小企業8社が協力し医療機器の開発受託を手がけるグループ。

展示会の中止

判断。受注開始を8月に早めた。

「フレッシュエコキユーブAECシリーズ」

は既存の空調機と併用するタイプ。

対象は中小企業8社が協力し医療機器の開発受託

を手がけるグループ。

手をかけるグループ。

自社技術 風穴開ける